

# 今週のモーニングセミナー報告

令和5年12月27日(水)の講話 <第972回>

テーマ：命の根っ子につながる

講師：香川県東かがわ市倫理法人会 幹事 クマダ塗料(有) 代表取締役 熊田輝司 様

(松浦 清貴 会長) 『もういくつ寝るとお正月～』の時期。おせち、しょうゆ豆、幾つでも食べてしまいます～。豆：マメに働けますように～。カズノコ、ダテマキ、コブマキ：よろこぶ。キントン：金徳、今日のもとを忘れず。由来を知ると親近感が湧きます。しょうゆ豆も最初は醤油につかって・・・失敗しながらおいしいものになり・・・伝説になった。僕も醤油につかってみようかな～変身して、しょうゆ豆大作戦で。今日の講話者は熊田さん、講話者育成研修と一緒に学びました。1月10日は決意表明、各自3分間の決意を熱くスピーチをお願いします。スローガン：『明るく、楽しく、自己革新、今日も元気、スマイル東かがわ市～』

(熊田 輝司 幹事) 15条<信成万事>→新しい生き方をするので、それまでの苦難、世の中の強欲が妻にかかり、ガンになり、亡くなった。結論を言えば、<己を尊び人に及ぼす>111P 16行 自己の個性をできるだけ伸ばして、世のため人の為に働かすことである。私は、1964年(昭和39年)三本松生れ。父は塗料会社の営業職で養子にきました。仲人はその会社の会長さん。会社を大きくするために一生懸命でした。塗装店はたくさん仕事を持ち、荒々しい人柄の多い相手先。基盤がないのでそのお客様しかいない。帰宅して食事の時に妻、母にあたる。そうすると私は耐えられなくなる。自分が見えなくなる。その後自分が分からなくなる。その後妻と出会い最高の結婚が出来て、最高。いい女性と出会って子供が生まれ、最高の時でした。二週間に一回淡路のホテルへ家族で、豪華な食事で、うっぷんを晴らす。仕事のうっぷんを晴らすことができました。妻は妻で喜んでくれた。それは続かなく、平成25年9月がんで見つかる。胃が痛い。夕方帰ると、お母さんが大変、真っ黄色、胆管が流れなく香川医大で精密検査。膵臓がん、余命を知らされる。無言で帰る。おばあさんもがんで亡くなっていた。妻の本当の気持ちを分かっていた。もっともっと売上げを～。その後、抗がん剤治療。がん患者の顔になる。黒い顔、自分の中の大きな城が、プライドが崩れ去ってしまう。林研究員からの倫理指導。「奥さんをモノのようになかったですか。」号泣する。今まで何だったのか?後の祭りでした。膵臓がんの腫瘍が大きくなり管にステントを入れる。黄疸が出てくる。腸が詰まる、そのまま死が近づく。見守るしかない。亡くなる夕方、義母が見舞いに来てくれて、ありがとう～。命があることそのひと時を過ごす。その後倫理指導を受け、「貴方のお父さんお母さん、奥様のお父さん、お母さんを思い、手を合わせて、<明朗に生きてください>と言われる。葉16条「尊己及人」人生の中で一番大切なものを無くして。父もがんで亡くし。川又先生に倫理指導を受け。『親不孝者～』と言われる。自分のわがままを詫言なさいと言われる。亡くなった父のその時だけ仏のような顔だった。遺産相続で、最大の敵と思っていた父の本当の心を知った。亡くなってはじめてわかった。話の途中泣いてしまうのが怖いので～ 事の経過を話させていただきました。

担当者：赤山 芳隆

東かがわ市幹事の熊田さんの講話でした。1964年生まれ、大学卒業後に父の経営しているクマダ塗料有限会社へ入社。父親との衝突、父親とは性格が180度違う。倫理指導を受けこの親不孝者と言われたが父の教育が悪いからだと思っていた。いつも厳しい顔をしていた父ががんになってからは優しい顔をしていて最後に父との約束をした会話、「家の事、会社のことは心配しないで」と会話したことについて話されました。妻が9年前に膵臓がんを診断されたこと、体が黄色くなり抗がん剤治療の大変さ、がんが肺にも達して呼吸が苦しいことを話されました。亡くなる前に倫理指導を受け「妻を物のように扱っている」と指導を受けたこと。しかし私は熊田さんの妻は熊田さんの子供を3人も生んで育てているので熊田さんのことが大好きだったことと思います。妻が亡くなって3人の子育ては大変だったことと思いますし、私には想像もできないくらいだったことと思います。大切な人を2人亡くされた熊田さんですが、毎日朝日を浴びて明朗とうい言葉で締めくくりました。今年最後のモーニングセミナー熊田さんをお願いしてよかったです。講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 17社 17名

次回のご案内

(モーニングセミナー)

日時：1月10日(水) 6:00～7:00

会場：南新町自治会館2階

テーマ：新年式

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000 / FAX (0879) 26-9001

メールアドレス [rinri-hk@ma.pikara.ne.jp](mailto:rinri-hk@ma.pikara.ne.jp)